

# 第16回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和3年12月21日(火) 14時から
- 2 会場 糸魚川市役所 201・202会議室
- 3 出席委員 教 育 長 齋藤 修一  
教育長職務代理 谷口 一之  
委 員 塚田 京子  
委 員 齋藤 里沙  
委 員 山本 修
- 4 委員以外の出席者  
教育次長 磯野 茂  
こども課 課 長 磯野 豊  
係 長 関澤 仁  
こども教育課 課 長 富永 浩文 参 事 小野 聡  
係 長 川原 隆行  
生涯学習課 課 長 穂苅 真  
文化振興課 課 長 伊藤章一郎 課長補佐 伊藤 伸一  
博物館 館 長 竹之内 耕  
市民会館 係 長 榊 正喜  
書記 こども課主査 佐藤 恵美
- 5 報 告  
報告第 39号 令和2年度事務報告書の記載誤りについて  
報告第 40号 子育て世帯への臨時特別給付について  
報告第 41号 市税等のコンビニ・キャッシュレス納付について  
報告第 42号 給食配送車の交通事故について  
報告第 43号 図書館窓口等業務委託について  
報告第 44号 木浦地区公民館の建替について

報告第 45号 各課・機関所管事項について

6 付議案件

議案第 56号 糸魚川市民図書館運営規則の一部を改正する規則の制定について

7 会議録署名委員の指名 1番 谷口委員

8 傍聴者 3人

教育長

ただいまから第16回教育委員会定例会を開会する。

報告第39号令和2年度事務報告書の記載誤りについて、事務局の説明を求める。

こども教育課長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長

報告第40号子育て世帯への臨時特別給付について、事務局の説明を求める。

こども課長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

齊藤委員

身近でとったアンケートでは、9割以上が現金支給を望んでいた  
ので、糸魚川市は、子育て世代の意向も踏まえた速やかな対応であ  
ったと思う。

こども課長

こども課窓口を訪れた子育て世代にも意見を聞いたが、クーポン  
は市内で利用できる店舗が限られ、使い易さから現金給付の希望が  
ほとんどであった。クーポン希望はごく一部で、経済対策として市  
内消費のため、クーポンでも仕方がないという意見であった。給付  
のお知らせには、経済対策の一環として、お子様のため市内での消  
費をお願いする旨を添えた。

齊藤委員

お願いの一言も含め、良い対応であったと思う。

教育長

報告第41号市税等のコンビニ・キャッシュレス納付について、事  
務局の説明を求める。

こども課長

(資料に基づき説明)

教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。

委員

(「なし」の声あり。)

教育長	報告第42号給食配送車の交通事故について、事務局の説明を求め る。
こども課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	報告第43号図書館窓口等業務委託について、事務局の説明を求め る。
生涯学習課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
塚田委員	専門業者のノウハウによるサービス向上とあるが、具体的に教え てほしい。
生涯学習課長	現在も図書館では、様々な事業を実施しているが、通常の業務に 紛れ、専門的な取り組みができない状態にある。例えば、図書 の照会や読み聞かせ等の事業も新しい展開ができないか、また本を探し たり、本に対する問い合わせの対応が、専門的にできると考えてい る。
山本委員	民間委託している他自治体はあるか。
生涯学習課長	県内の半分以上は、民間委託等している。
教育長	報告第44号地区公民館の建替について、事務局の説明を求める。
生涯学習課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	報告第45号各課・機関所管事項について、事務局の説明を求める。 (資料に基づき説明)
	こども課 所管事項報告
	こども教育課 所管事項報告
	生涯学習課 所管事項報告
	文化振興課 所管事項報告
	図書館 所管事項報告
	博物館 所管事項報告
	市民会館 所管事項報告
教育長	ここで先ほど報告のあった今年度のキャリアフェスティバルの 映像を視聴後、質疑に入る。 (映像視聴)

教育長 塚田委員	各課報告事項について、ご質疑はないか。 キャリアフェスティバルの映像について、子どもたちの真剣な表情も良く分かり、説明している大人の表情もすごく印象的であった。保護者や子どもたちだけでなく、地域の人たちも視聴できるような周知を考えてほしい。
こども課長	完成した動画は、Y o u T u b e にアップする。より多くの人に視聴してもらえるよう検討していきたい。
塚田委員	今年度からタブレットを利用した授業が始まり、県内で少なくとも20件のタブレット利用に関わるいじめが確認されたと新聞報道があった。市内でもいじめにつながるようなトラブルの報告はあるか。初期対応が重要なため、小さいトラブルでも学校間で情報共有等できているか。
こども教育課参事	市内でもトラブル等の報告はあるが、学校や各校を巡回しているI C T支援員が、小さく早期うちに気づき報告している。またその事案は全学校に周知し、情報共有している。子どもの年齢によっては、禁止するだけでなく、トラブル回避等を考えることも重要として取り組んでいる。2月に開催される教育懇談会でもi P a d活用等の各校の取組を紹介したい。
塚田委員 山本委員	年齢に沿った定期的なモラル教育を同時に進めてほしい。 いじめの認知件数が中学校で0件とあるが、見逃しがいないか不安である。小学生に比べ中学生は周囲に相談しにくく、子どもたちの声をきちんと把握できるようなアンケート等の工夫も必要である。
こども教育課参事	県内でも、いじめが関係する事件も発生している。中学生は、自分の心の中を表に出しにくい年代であるため、アンケートと面談を併用したり、W e bを利用するなど、早期発見、早期対応できるように取り組んでいきたい。
教育長	数値に一喜一憂するのではなく、丁寧な対応と情報収集を継続し、慎重に進めてほしい。
塚田委員	相談は勇気が必要で、アンケートでの回答には限界がある。悩み相談の手段を、L I N Eや郵送なども検討してほしい。
こども教育課参事	現在の相談体制は、アンケートと面談を行い、アンケートも記名式、無記名式、選択式にするなど工夫している。定期的に市の相談員が学校を訪問し、悩みを持つ子どもの情報も共有している。併せてスクールカウンセラーによる電話相談や定期的な声掛けで、相談しやすい学校、学級の雰囲気づくりを進めたい。
谷口委員	学校により終業式や始業式が違い、冬休み期間も違っている。各学校の状況により計画していると思うが、学校間であまり差がないようにしてほしい。

こども教育課参事	学校事情により、多少のずれはあるが、中学校区でなるべくそろえるよう校長会で伝えている。
齊藤委員	放課後児童クラブについて、以前、長期休業中に講師を招き、特別授業等をしていたようだが、今もそのような取り組みはあるか。
こども課長	地域の力を借り、地域の方と子どもたちが一緒に遊ぶ機会もあった。現在もその部分も含め、業務委託している。
山本委員	私立保育園の理事長や園長の研修会の報告があったが、公立保育園でも園のマネジメントや職員指導、メンタルヘルスなどの研修は実施しているか。
こども課長	公立園の園長は市職員であるため、一般職と同様の研修は受講している。保育に関しても、保育連盟が主催する研修に参加している。外部講師の話聞く機会を設け、保育負担軽減を図っていきたい。
塚田委員	高校魅力化教員向け研修会が開催されたようだが、高校魅力化事業の進捗状況と今後の予定を教えてください。
こども課管理係長	高校魅力化の進め方については、専門的な知識が必要なため外部機関に委託し、マネジメントしてもらっている。糸魚川高校で令和4年度に探究学習カリキュラムの見直しがあり、会議を重ねながらカリキュラム策定を進めている。今後、白嶺高校のカリキュラム策定も予定している。
こども課長	現場の教員と共有し、一体となって取り組むための研修会である。来年度春からコーディネーターを採用するべく全国募集し、採用業務も委託している。4月から3名をコーディネーターとして配置し、探究的な学びを加速させたい。また、採用決定した際は、教育委員会でも報告したい。
山本委員	不登校及び不登校傾向の児童生徒数より、その対応状況の数が少ないが理由を教えてください。
こども教育課長	注釈にもあるように、日常的な電話連絡の対応が数字に反映されていないためである。基本的に電話等での連絡が中心となるが、学校でのケース会議や面談を行い、生活状況の確認や登校、学習保障に向けたステップを確認している。
谷口委員	NHKのプラタモリで糸魚川市、フォッサマグナが放送され、博物館の入館者も増加しているようだが、今後もそれを利用する考えはあるか。
博物館長	プラタモリで紹介された2コースについて、ジオパーク推進室と連携し、モデルコースとして紹介を予定している。学校教育においても、市内または市外の学校に対して使いやすいような教育プログラムとなるようPRしていきたい。

齊藤委員	上南地区公民館が評価された部分は何か。
生涯学習課長	公民館活動を積極的に行い、「みんなが輝く公民館」のキャッチフレーズと取り組みが、模範となる公民館として認められた。
山本委員	上越地区同和教育研究協議会社会同和教育部会研修会の内容を教えてほしい。
生涯学習課長	今年度は糸魚川市が会場となり、長者ヶ原考古館を案内後、同和教育や同和対策の状況等について情報交換する。
山本委員	同和教育や社会同和はとても大切である。担当者の研修会を市民にも広げていくことで同和教育の推進に役立ててほしい。
教育長	議案第56号糸魚川市民図書館運営規則の一部を改正する規則の制定について、事務局の説明を求める。
生涯学習課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	採決に入る。議案第56号について、ご異議なはいか。
委員	(「異議なし」の声あり。)
教育長	異議なしと認め、承認する。
教育次長	次回教育委員会定例会開催 令和4年1月28日(金) 16時から その他 特になし
教育長	以上で第16回教育委員会定例会を閉会する。

15:35 終了